



松本市図書館だより

平成29年 1月4日発行 第46号

編集・発行 松本市
中央図書館
〒390-0861
松本市蟻ヶ崎 2-4-40
電話/0263(32)0099



謹賀新年

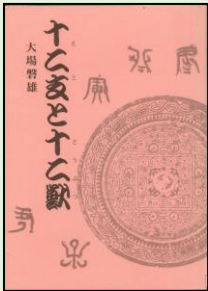


あけましておめでとうございます。本年も皆様に満足して図書館を利用していただけるよう、お手伝いをさせていただきますのでよろしくお願い致します。

今回は^{えと}干支のお話です。年賀状などでおなじみの干支ですが、皆さんは十二支とは一体どんなものか知っていますか？関連する資料もご紹介いたします。

干支の由来

十二支は、中国で今から約三千五百年前に考えられたカレンダーです。その頃は電気も時計もなく、太陽や満月の動きから一年という単位が生まれ、その時付けられた年号が『子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥』の12文字でした。当時は字の読める人は少なく、多くの人に年号を知ってもらおうと動物の名前を当てはめました。これが十二支の始まりと考えられています。

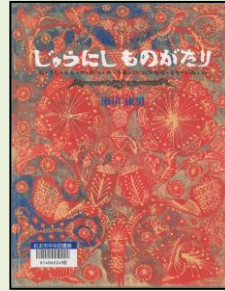
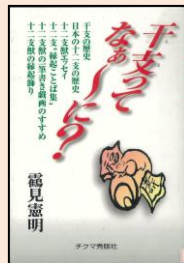


「十二支と十二獣」
大場磐雄 著/北隆館

考古学上遺物や歴史上の記録、動物の語源などを集めた一冊です。

「干支ってなあ〜に？」

福見 憲明 著
/千クマ秀版社
干支の歴史、縁起ことば集、戯画・縁起飾りなどを紹介しています。



「じゅうにものがたり」
瀬川康男 著
/グランママ社
十二支を決めるための物語を鮮やかなイラストで描いた絵本です。(児童書)

「もっと知りたい！

十二支のひみつ」
大高成元・川口幸男・中里竜二著/小学館
十二支の動物についての昔話、古事・ことわざ、豆知識や飼い方も書かれています。(児童書)



1月の図書館イベント

◆ニューイヤーコンサート& 大人のためのおはなし会

「松本音楽団」のみなさんによるコンサートと大人のためのおはなし会を行います。
日時 1月14日(土) 19時～
場所 なんなんひろば 3階大会議室
対象 大人 申し込み不要
お問い合わせ 南部図書館 ☎26-1083



◆カルトナージュ教室

綺麗な布や紙で覆って飾るカルトナージュの技法を使って手作りのオリジナルブックカバーを作ります。
日時 1月21日(土) 13時30分～16時30分
場所 空港図書館 会議室 対象 大人
定員 14名(要申し込み)
材料費 1000円
お申込み・お問い合わせ 空港図書館 ☎86-8460



◆手縫いで作る ハンカチポーチを作ろう！

「手縫い」でポーチを作ります。サイズは、約 縦26cm×横12cmです。
日時 1月28日(土) 9時30分～12時頃 場所 島内公民館 講義室 定員 15名(要申し込み)
対象 大人、小学生以上(小学生の方は保護者の方の付き添いをお願いしています。) 材料費 500円
お申込み・お問い合わせ 島内図書館 ☎48-2711

新刊のご案内



『につぼん 家電のはじまり』

大西 正幸/著 技法堂出版【545オ 所蔵館：、南部、島内、波田】

現代の生活に、便利な家電は欠かせないものになっています。この本では明治、大正、昭和（初期）の時代の家電の様子を見ることができます。国の発展とともに進化してきた家電の歴史が、図や写真で振り返りながら楽しめます。

『あんこのことがすべてわかる本』

芝崎 本実著/著 あんこ事典監修 誠文堂新光社【596ア 所蔵：中央、南部、あがたの森、本郷、空港、波田】

寒い冬、温かい飲み物と一緒に、あんこのお菓子を楽しまれる方も多いのではないでしょうか？ この本には高級和菓子から、庶民のたい焼きまで、47都道府県のあんこ菓子リストがついています。名品を買ったり、レシピを探したり、あんこについてうんちくを語ったりする等、あんこについて堪能できる本です。



予約本ベスト5

平成28年11月15日～

平成28年12月15日受付

一般書

- 1位『恋のゴンドラ』東野 圭吾/著、実業之日本社
- 2位『コンビニ人間』村田 沙耶香/著、文藝春秋
- 3位『慈雨』柚月 裕子/著、集英社
- 4位『蜜蜂と遠雷』恩田 陸/著、幻冬舎
- 5位『セイレーンの懺悔』中山 七里/著、小学館

児童書

- 1位『ハリーポッターと呪いの子』（第一部、二部）
J. K. ローリング/著、静山社
- 2位『まどから★おくりもの』（おはなし会用大型絵本）
五味 太郎/作・絵、偕成社
- 3位『雑草のくらし』（あき地の五年間）
甲斐 信枝/さく、福音館書店
- 4位『死神うどんカフェ1号店 別腹編』
石川 宏千花/著、講談社
『ノラネコぐんだん そらをとぶ』
工藤 ノリコ/著、白泉社

図書館に聞いてみよう！

【今月の事例】

Q. なぜ正月に「七草がゆ」を食べるの？

- A.
- ア「和ごよみと四季のくらし」（2007年/日本文芸社）
- イ「わが家で作る行事料理」（2002年/東京書店）

まず、「七草がゆ」とは、「せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのぞ、すずな、すずしろ」を入れたおかゆを1月7日の朝に食べる風習のことをいいます。

江戸時代には五節句のひとつ、「人日（じんじつ）の節句」として重要なものようでした。元旦から続いてきた正月の行事を終わらせる日として、「六日年取り」「六日年越し」とも呼び、松の内最後の日として祝われてきたそうです。

七草がゆは、正月のごちそうで疲れた胃を休ませるためだったり、青菜の少ない時期にビタミンを取り入れるためなど、古くからの知恵が感じられる行事のひとつです。

図書館には、調べ物のお手伝いをするサービスがあります。本についての問い合わせ以外にも、身近な疑問についてもお調べしていますので、お気軽にご利用ください。

 フェイスブックやっています！

松本市図書館 アルプスの山々



フェイスブック QR コード

FMまつもと 今月の出演

1月 4日（水）12：30～

チャンネル：79.1MHz

※放送日等変更になる可能性もあるのでご了承ください

